

科目名		授業形態	担当教員名	
運動療法学Ⅰ		演習・講義	福林 秀幸	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
理学療法士の治療技術としての基本となる関節可動域運動や筋力増強など、各種の運動療法の仕組みや方法を学び、各疾患に対しての身体症状や問題のある状態に対して、リスクを考慮しながら身体機能の改善するための運動療法の技術を知り習得する。				
授業の到達目標				
筋、関節、姿勢異常、持久力、感覚障害など症状・障害の原理を理解し、治療における根拠を持った運動療法プログラムの立案ができることを目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	運動療法の基礎・リスク管理			
2	コンディショニングのための手段について			
3	関節可動域制限に対する運動療法 （1）			
4	関節可動域制限に対する運動療法 （2）			
5	関節可動域制限に対する運動療法 演習			
6	筋機能障害に対する運動療法 （1）			
7	筋機能障害に対する運動療法 （2）			
8	筋機能障害に対する運動療法 演習 小テスト 1回目			
9	持久力			
10	基本動作能力・歩行能力再獲得のための運動療法 （1）			
11	基本動作能力・歩行能力再獲得のための運動療法 （2）			
12	基本動作能力・歩行能力再獲得のための運動療法 演習			
13	協調運動障害（運動失調とバランス機能障害）に対する運動療法			
14	感覚障害に対する運動療法			
15	バイオフィードバック 小テスト2回目			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載	筆記試験と小テストを合わせて総合評価する。			
教科書				
書名		著者・編集者名		出版社名
15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動療法学		石川朗 他		中山書店
運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版		市橋則明		文光堂
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名		出版社名
自由記載				
備考				